

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株) クレアメディコ	代表者	岡本 恒夫	法人・事業所の特徴	「医療・介護の原点はやさしさ」 上質な医療・介護を提供し、信頼され、選ばれる「さわやか苑」を目指し、地域医療・介護に貢献します。
事業所名	多機能ケアセンター さわやか苑 長倉	管理者	岩崎 智美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	人	2人	1人	人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>各委員会からサービス評価班を作り全体で課題解決していく体制を作る。</li> <li>項目ごとに課題や目標を明確にしできていない事をできるようにする取組みを具体的に示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織体制の変更等により、昨年度計画した各班から選出してサービス評価班を作る事はできなかったが事業長、主任を中心に全体で課題解決に取り組んだ。</li> <li>全項目ではないが目標や課題解決に向けて職員から積極的に声が出るようになり主体的に取り組んでいる様子が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り組んだ結果(どうなったか)の記載があると、分かり易いと思います。</li> <li>前は当初の計画通りにできなかったとのことでしたが、今年度はどのようなやり方で取り組みますか。</li> <li>職員の知識や能力の差があるので、効果的な取り組みになるために、どうするかは課題だと思います。</li> <li>主となるメンバーを明確にして取り組む体制が取れる事で効果が上がるひとつになると思う。</li> <li>職員の方から課題解決に向け取り組まれたのは良かったと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月にサービス評価についての勉強会を実施し目標を共有した中で取り組みを実施する。</li> <li>毎月月例会議にてサービス評価の計画が取り組んでいるか、進み具合はどうかを確認していく。</li> <li>職員には班構成を行った中から毎月主任、班長を中心に目標・目的を明確にし、計画に対し評価しながら個々に役割を持って取り組んでいく。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策の徹底は引き続き行い、ご利用者様、職員の感染防止に努める。</li> <li>苑内の整理整頓を強化し清潔な状態を保ちご利用者様が気持ちよく過ごせる環境にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策は継続して実施する事ができていた。今年度はご利用者様2名、職員1名感染したがクラスター発生なく対応できている。</li> <li>感染症対策も含め、日々の清掃や消毒等は使用都度行い、清潔な環境を保つよう心掛けた。</li> <li>リスク班が中心となり、日々の清掃は業務の中に組み込み実施し、月1回は整理整頓箇所を設け重点的に行った。また、環境が原因で事故に繋がる危険がある時は昼礼で検討し環境整備を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>苑内の整理整頓(前回の改善計画)が挙げられた理由は何だったのでしょうか。このことに対する取組み・結果がない為わかりませんでした。取組み結果を教えてください。</li> <li>感染禍で大変な状況で感染予防を主としながら環境整備に取り組み、今後も継続して行って欲しい。</li> <li>センターにお伺いする機会もなく様子はわかりませんでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な感染対策は継続し実施していく。感染症が発生した際はマニュアルに添って迅速に対応し感染拡大させないように努める。</li> <li>苑内の整理整頓は常に行い事故防止やご利用者様に気持ちよく過ごしていただけるように環境整備していく。また、掲示板を活用し日々の様子や取組み等を写真にして掲示する。</li> </ul>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年同様、町内のクリーン作戦、草取りに参加させていただく。また、行事等の案内があれば積極的に参加させていただく。</li> <li>・雑巾プロジェクトを継続し、近隣の学校に雑巾を寄付する活動を通し、地域交流やご利用者様のやりがいに繋げていく。</li> <li>・苑の取り組み内容やご利用者様の様子が分かる広報紙を作成し回覧板を通して地域の方へ発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策の観点からご利用者様と一緒に参加する行事は不参加であったが町内のクリーン作成には毎回職員が参加できていた。</li> <li>・雑巾プロジェクトは体制の変更等で担当者不在になってしまい、取り組みが中断してしまった。1月に入り改めて担当を決め活動を再開している。</li> <li>・毎月の作成はできなかったが、定期的に広報誌を作成していた。回覧板等で町内の方に見て頂く機会はなかったが、作成したものはご家族様へお渡ししていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙を地域の方に回覧できなかった理由は何かですか。</li> <li>・広報紙をご家族に配布して、何か反応はありましたか。</li> <li>・雑巾プロジェクトは、学校からの反応はいかがですか。</li> <li>・雑巾作りは利用者のやりがいになりますか。</li> <li>・近隣との良い関係が築けている事が報告から伺える。感染防止を優先させた上でできる事を取り組まれると良い。</li> <li>・広報誌の回覧などは事業所をより知っていただけたと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の活動には例年同様参加させて頂く。状況を伺いながらご利用者様も参加できる行事があれば一緒に参加する。</li> <li>・雑巾プロジェクトの活動を再開し近隣の学校への寄付を通じてご利用者様と地域の交流を図る。</li> <li>・さわやか苑新聞を毎月作成しご家族様や回覧板を通して地域の方へも苑での取り組みを発信し事業所を知っていただく。</li> <li>・4、10月と半期に1回、地域資源についての理解を深める勉強会を実施する。</li> </ul>
<p>D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は、担当ご利用者様の生活歴や地域、地域との関わりについてご家族様から情報を集める。</li> <li>・月1回のカンファレンス開催時に対象者の地域との関わりや地域資源について話し合い在宅生活を支える方法が他にもあるか検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回の関わり時から個別担当がケアマネージャーと同席し担当者会議に参加しご利用者様の情報をご家族様に確認していた。また関わりの中で得た情報は記録に残し情報共有を図った。</li> <li>・月1回カンファレンス実施しご利用者様の在宅生活を継続するためにできる方法を検討した。苑内だけの取り組みにならないようご自宅での生活を意識しながら話し合う事ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が、地域とどんな関わりを持って、在宅での生活ができていいのか、取り組んだ結果が知りたいです。</li> <li>・ご自宅での生活を意識した事で、ケアプランの変更があった方はいらっしゃいますか。</li> <li>・自宅での生活を意識する事はその人らしい生活のために、重要な事かと思いません。良い事例があったら紹介して頂きたいです。</li> <li>・ケアの上で大切な視点と思われる。初回だけでなく継続したカンファレンス等で意識して実施してほしい。</li> <li>・カンファレンスでの「ご自宅での生活を意識した話し合い」の内容はどんなものかわかると良かったです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者様の在宅生活を支える為、地域との関わりをご家族様から情報を得たり必要な地域資源がないかカンファレンス時だけでなく常に情報共有していく。</li> <li>・長倉町内の方々だけでなく、送迎や訪問時に出会ったご利用者様の地域の方々にも元氣よく挨拶をする。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組み内容や事故報告等の報告を分かり易く具体的なものにし書面開催であっても伝わり易いものにする。</li> <li>・月例会議やミーティングを通じて運営推進会議で頂いたご意見やアドバイスを職員へ周知し職員全体で改善に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頂いたご意見を参考に報告資料の改善に努めた。</li> <li>・運営推進会議資料はご意見も含め職員もいつでも閲覧できるようにファイリングしている。頂いたご意見を共有しより良い運営ができるよう意識した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書面開催が多くなり、多くの委員からの意見が出にくくなっていませんか。</li> <li>・書面会議が主であったがわかりやすい報告資料となっていた。</li> <li>・コロナ禍での書面開催は残念でした。どんな方が委員におられるのか分かりにくかった様に思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の意義を理解し年間計画に添って感染防止対策を行いながら対面開催を行う。</li> <li>・運営推進会議で頂いたご意見やアドバイスは事業所全体の事と意識し職員全体で共有し取り組みの改善や参考に活かしていく。</li> <li>・事業所の悩み事や取り組んでよかった事例等も報告に加えご意見を頂く。</li> </ul>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策マニュアル（ご利用者様対応一覧、避難経路図、緊急連絡網、防災体制一覧等）を常に新しい情報に更新しファイルを目に付きやすくいつでも確認できる場所に設置する。</li> <li>・運営推進会議で使用する防災災害訓練の様子や取り組みの報告は分かり易く状況が伝わるようする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策マニュアルは月1回更新し最新の情報をファイリングし共有できていた。</li> <li>・今年度も書面開催させていただいた為、様子等を写真も交えて分かり易く報告するよう心掛けたが、文章のみで報告する事もあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回のマニュアル更新情報は、どのような方法で職員に周知されていますか。</li> <li>・事業所としての防災災害対策について職員全体で意識向上が図れるよう継続して取り組んでいってほしい。</li> <li>・町内の自主防災会との意見交換の必要を感じます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策マニュアル（ご利用者様対応一覧、避難経路図、緊急連絡網、防災体制一覧等）は月1回更新し最新情報を共有する。防災グッズ等の定期的な点検を行い非常時に備える。</li> <li>・年間防災計画を立て町内会長様を通じて町内の自主防災会の方と意見交換の場を設け災害時に協力体制が図れるようにする。また、取り組み状況は写真を付けて分かり易く報告する。</li> </ul>